

平成 30 年度 第 1 回熊本県臨床細胞学会理事会議事録

日 時：平成 30 年度 6 月 27 日（水）19：00～19：30

会 場：国立病院機構医療センター 2 階研修室

参加者：神尾，有馬，三上，福岡，大西，大塚，島本，井上，田上[け]，遠山，立山，
田上[さ]，亀山，安田，廣瀬，中島，川上

欠席（委任状）：豊住，三森，猪山，本田，長峯，布上，民本

議題

1. 第 35 回熊本県臨床細胞学会学術集会（2019. 2. 24 開催予定）における特別講演ならびに教育講演の講師選出について
2. ホームページ運用の進捗状況報告
3. 予算（特に支出関係）の今後の展望（変動の見込み）
4. 大阪地震における義援金について
5. その他

協議事項

1. 学術集会に関して
 - ・各理事から事前に推薦講演および講師の候補を挙げていただいた 12 件（重複込み）の推薦案を基に討議した結果，特別講演として膀胱瘍に自治医科大学の福嶋敬宜先生，乳腺に相良病院の大井恭代先生を候補として決定した。
→ 後日，両先生に打診したところ，快諾され決定となる。
2. ホームページ運用の進捗状況報告
 - ・ホームページ担当の立山理事から報告
 - ①バナーの変更
 - ・日本臨床細胞学会総会および秋季大会のホームページのリンク付き：年 2 回
 - ・不定期に写真の変更（1 年から 2 に一度）
 - ②お知らせ，新着情報，活動報告，症例集を随時更新する
 - ③定期のメールマガジンの配信
 - ・毎月 20 日前後に配信（全 12 回）
 - ④検討課題として
 - ・学会演題募集および申し込み，細胞診初心者講習会案内および申し込み，症例検討会のアナムネーゼ
上記の内容をメール配信からすべてホームページに委ねる方向で次年度中までに検討を進めることを確認した。
 - ・学会プログラムおよび抄録の学会前掲載に関しては，今年度の県学会学術集会で試行的にホームページに掲載し，来年度から完全実施に移行していくことを会員に呼

びかける。

- ・検討課題をホームページで実施していくことで、印刷代などが削減できる。

3. 予算（特に支出関係）の今後の展望（変動の見込み）

- ・会計の田上さやか理事から報告

現在の収支に関して毎年 25 万円の赤字が発生しており、このまま進むと 10 年以内に予算は破綻してしまう。

そこで、支出削減のため、細胞診セミナーへの補助の半減、忘年会および県学会懇親会への補助金の減額などを昨年度実施した。また、県学会へ招致する講師に関しては、数年前の理事会で了承された九州圏内および九州圏外からそれぞれ一名ずつ選定することを再確認した（ただし、九州圏内の一名は、原則である）。

収入に関しては、次年度以降に会費の値上げや細胞診講習会会費の値上げを検討していく。

4. 大阪地震に対する義援金について

- ・熊本県臨床細胞学会の会計から、義援金 5 万円を贈ることが賛成多数で承認された。

5. その他

- ・今年度も昨年度と同様、細胞診講習会時に使用された標本を、任意の施設に受講者が鏡検へ行く方向で準備が進められている。場所および期間に関しては、細胞診講習会担当の井上理事（熊本労災病院）に一任することにした。
- ・今回も施設によっては標本の持出しで借用書が必要な場合、熊本県臨床細胞学会事務局で作成し発行することになった。

以上